

ICT活用研修会 プログラミング研修コース

夏季休業中に、小学校2校にて「ICT活用研修会 プログラミング研修コース」を行いました。

受講者の先生方には、ビスケット、スクラッチ、mBot、マイクロビット、WeDoの5つのコースから選んでいただき、プログラミングを体験していただきました。本市のICT支援員も講師となり、受講された先生方のサポートしていただきました。

受講者の先生方からは、「基本的な操作方法が分かった」「実践的な研修でよかった」「楽しめる教材だと感じた」「プログラミングは繰り返し試行することが大切」「いろいろ試す時間も大事」などの感想をいただきました。

【文部科学省「小学校プログラミング教育の手引」より一部抜粋】

「楽しい」だけで終わっては十分とは言えませんが、まず楽しさや面白さ、達成感を味わわせることによって、プログラムのよさ等への「気付き」を促し、コンピュータ等を「もっと活用したい」、「上手に活用したい」といった意欲を喚起することができます。

コンピュータが日常生活の様々な場面で使われており、生活を便利にしていることや、コンピュータに意図した処理を行わせるためには必要な手順があることに気付くことが、今後の生活においてコンピュータ等を活用していく上で必要な基盤となっていきます。児童がプログラミングを「体験」し、自らが意図する動きを実現するために試行錯誤することが極めて重要となります。

まずは、教師（大人）が自ら実際に体験し、プログラミングはそれほど難しいものではなく、むしろ面白いものだということが実感することが大切かもしれません。体験の中で、「授業でこんな使い方ができそうだと」というアイデアが湧いてくることと思います。

滑川市教育センターでは、プログラミング教材(次のページ参照)の貸出しを行っております。プログラミング学習（授業）に限らず、「教材を借りて体験してみたい」などの希望がございましたら、ぜひ、滑川市教育センターにお問い合わせください。



mBot体験



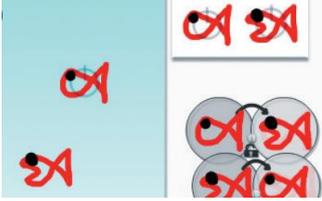
スクラッチ体験



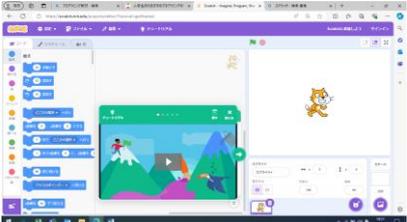
マイクロビット体験

【プログラミング教育 使用教材例】

ビスケット（低学年向け）

イメージ


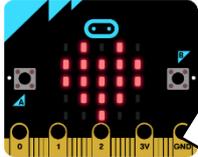
スクラッチ（中学年向け）

イメージ	単元等で実施するもの
	<p>算数科・5学年・正多角形の作図</p> 

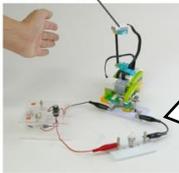
mBot（中学年向け）

イメージ
<p>自分で作って動かせる ロボットキット「mBot」</p>  <p>滑川市教育センターに 20台あります。</p>

マイクロビット（高学年向け）

イメージ	単元等で実施するもの
 <p>滑川市教育センターに 旧：20台 新：55台あります。</p>	<p>理科・6学年・電気の利用</p> 

WeDo（高学年向け）

イメージ	単元等で実施するもの
<p>人感センサー (モーションセンサー)</p>  <p>滑川市教育センターに 15台あります。</p>	<p>理科・6学年・電気の利用</p> <p><公共のトイレなど「人が来たら電気がついて、いなくなったら切れる」場面></p> 

<活動報告>

1 開催校一覧

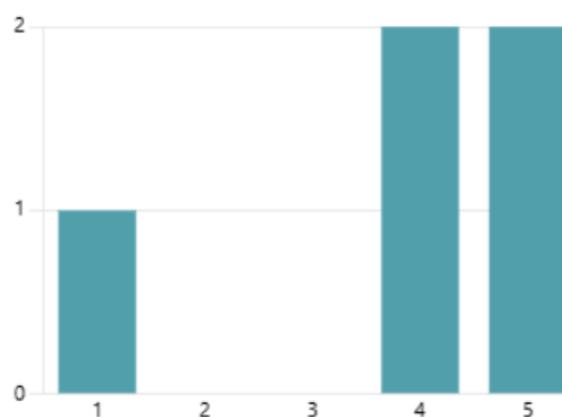
開催校	期日	コース
東加積小	7/31(水)	mBot コース 1名
寺家小	8/26(火)	スクラッチコース 3名、mBot コース 1名、マイクロビットコース 1名

2 事後アンケートより (5名回答)

4. 本研修はいかがでしたか。(0点数)

[詳細](#)

3.80
平均評価



感想	評価
担任している児童の実態から、mBOT を選択させていただきました。プログラミングは繰り返し試行することが大切であると学びました。まずは簡単な規則性で遊ぶ過程で、児童の自由な発想で取り組めるよう指導したいと思います。また、児童の好きなことと組み合わせさせて使えそうだと思ったので、計画してみたいです。	5
実践的な研修でよかったです。使ってみながら指導する場合の注意点など考えることができました。	4
スクラッチの基本的な操作方法が分かりました。	4
M bot の操作を教えてくださいました。子供が直感的に楽しめる教材だと改めて感じました。M bot はキーボードがあるとコントロールの幅も広がるのでキーボードがついた端末があるとよいと思いました。	1
子供と同じ気持ちになって研修を受けることができました。成功したときの達成感や、どうしたらできるかを考えていろいろ試す時間も大事だと感じました。	5